

※1 日本ジオパーク認定に向け

～本年9月末に認定の可否～

質 本市は日本ジオパーク認定に向けての取り組みをしているが、これまでの状況、今後の取り組み計画について伺う。

答 市長 具体的な活動として、普及啓発活動として、これまでシンポジウムや学習会を計47回開催し、延べ1870人が参加しました。今後も、継続して開催するとともに、他地域のジオガイドとの交流・情報交換を通じて質の向上にも努めていきます。

質 本市の地質遺産である柱状節理などの景観を、どのように観光開発に結び付けていくのか。
答 市長 本市のジオサイトの魅力をさらに高めて、国内外に情報発信をしていくことが重要と考えています。



岩戸の景観(清川町)

豊後大野市の未来像は

～協働によるまちづくり～

質 市長の考える豊後大野市の未来像とは、どのようなものか。

答 市長

全てのサービスを行う政が賄うのではなく、市民の皆さまがそれぞれの役割をともに果たして、よりよい地域をともに形成しようとする努力が生まれてくるまちにしなければなりません。それが協働によるまちづくりです。つまり、市民が主体性と誇りと責任を持って自治を行うまちこそ我が豊後大野市の未来の姿であります。

答 市長

市長の2期目の6つの政策理念は、本市の未来にどのように反映されるのか。

①「安全・安心コミュニティの形成」では、地域の自助・共助力を強め、災害の際、必要不可欠なマンパワーとなると確信して

います。

②「農林畜産業の振興」では、安全・安心でいい商品を作り、そして消費者に購入してもらえよう関係団体と一緒に頑張ります。
③「産業集積と定住促進」では、コールセンターやIT関連のサテライトオフィスなどの誘致を検討します。
④「地域振興と観光交流人口の拡大」では、認定を目指しているジオパークを契機に、本市の知名度を上げ、活性化を図ります。

⑤「ハツラツとしたまちづくり」では、社会教育環境の充実が必要であり、公民館の在り方も検討していきます。

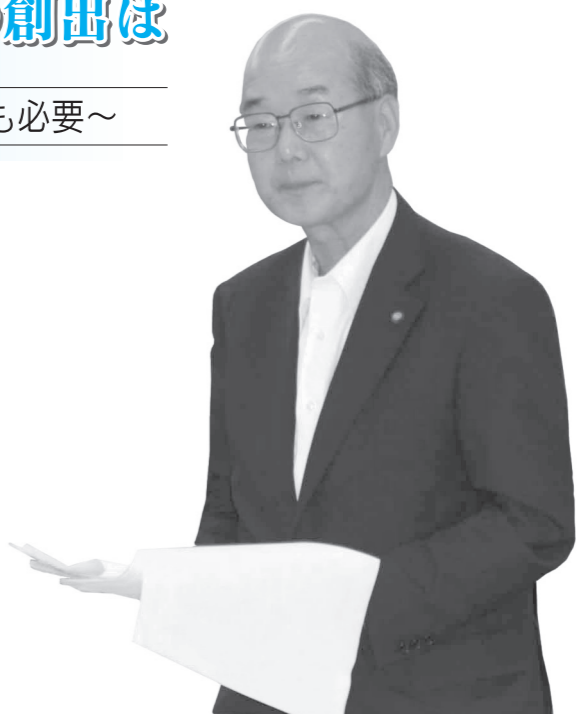
⑥「太陽光発電施設の設置」では、新たな自主財源を生み出すこの事業に大きな期待を寄せているところです。

地域資源を活用した農林漁業者による新事業の創出は

～農商工連携による6次産業化の推進も必要～

質 農林水産物の生産、加工、販売、流通は一朝一夕には進まないと思われるが、市としては、どのような前向きな工夫を凝らした対応計画、取り組みを行っているか。

答 市長 生産から販売までの一元的支援体制の確立を図り、「大分の野菜畑 豊後大野」のブランド力をさらに高めなければならぬと考えています。



たかやま とよよし
清風クラブ 高山豊吉

ごみ処理の広域化は

～市町村のごみ処理施設の集約化による広域処理が不可欠～

質 ごみ処理施設の耐用年数はおおむね20年と聞か、本市の清掃センターは現在15年が経過している。今後の施設更新計画について伺う。

答 市長

平成24年度に豊後大野市清掃センター長寿命化計画を立て、平成25年度から平成27年度の3カ年事業で、国からの交付金を受けて、ごみ焼却施設を構成する重要な設備や機器などの基幹的設備改良工事を行い、施設の性能を初期の性能水準まで回復させるとともに、地球温暖化対策の一環として二酸化炭素排出量削減に資する機能向

上も図るよう考えています。本市が実施する長寿命化計画による基幹的設備改良事業は、今まで以上に施設の維持管理などの徹底や環境対策を厳しくして、市民や周辺自治会などにご迷惑をおかけすることのないよう、万全を期して対処したいと考えていますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



清掃センター

※3 サテライトオフィス=企業または団体の本拠から離れた所に設置されたオフィスのこと。

※1 ジオパーク=地球活動の遺産を見る大地の公園。
※2 柱状節理=マグマが冷却固結する際に生じる柱状の割れ目。